

姫biz セミナー



Camino

みのかもで、
叶えられる夢がある!

まち・ひと・しごと創生総合戦略

おのくんの育て方

12月20日(水)

午後7:00開始



参加者限定！
「おのくん人形」
「おのくん絵本」等
特別販売をします
※数量に限りがあります

■「おのくん」とは■

東日本大震災で被災した宮城県東松島市。その小野地区の仮設住宅に暮らす女性が、「自分たちの地域を自分たちにできることで元気にしたい」と考え、靴下でつくるぬいぐるみに「おのくん」と名付けて始めた活動で、SNSやクラウドファンディングをうまく活用しています。各界著名人も活動に協力するなど、今とても注目を集めています。

●テーマ

おのくんの活動とSNS・クラウドファンディングの活用事例

●会場

美濃加茂市生涯学習センター203号室

●講師

武田文子さん・新城隼さん（おのくんプロジェクト代表）

●定員

30人

●参加料

無料

●申込

姫biz事務局 TEL0574-57-9331

※おのくんの活動の詳細は裏面をご覧ください。

おのくんの物語

由来

宮城県東松島市「小野駅前応急仮設住宅」で、そこに住む人々が元の住処であった奥松島の復興を願って生まれたキャラクター。

きっかけは、支援者の方から紹介されたアメリカのソックモンキー（靴下でつくるぬいぐるみ）をみて、「これならできる」と考えたこと。

正式名称は「めんどくしえ“おのくん”人形」で、「めんどくしえ」の名付け親はNHKアナウンサーの小野文恵さんだそうです。

活動

被災した翌年の2012年に、講師の1人、武田文子さんをはじめとする仮設住宅の「おかあさん」数人で小さく小さく始まったおのくんの活動。

最初は、被災地支援で訪れる人たちのクチコミでの広がりが中心でしたが、もう1人の講師である新城隼さんの協力によって、“みせ方”の工夫やfacebookでの情報発信が強化されたことなどで人気拡大。

おのくんの「里親」になりたい人も増えて全国から里親申請が来るようになり、現在ではおのくんのお届けに1年近く待っていただいているとのこと。

最近では絵本「おのくんと。」の製作も行っていて、そのための資金をクラウドファンディングで調達。これまでに、2回で合計230万円以上の支援を集めることに成功しています。

また、各地のイベントにも数多く出演するとともに、熊本地震や九州の豪雨災害の支援活動も行っています。

仲間

おのくんの活動に共感して支援する人たちはたくさんいます。

俳優、アナウンサー、ミュージシャン、お笑い芸人などさまざまな分野の著名人が、これまでに何度も仮設住宅のおのくんのもとを訪れています。製作した絵本「おのくんと。」は、有名声優たちの協力によってたいへん豪華な朗読会も開催されました。

そしてなにより、全国の里親さんたちが「里帰り」のためにおのくんのふるさと、東松島を訪れています。